

全日本大学バレーボール連盟 第3回 全日本理事会 議事録

1. 日時：2017年12月2日（土）14：30～15：30
2. 会場：大田区総合体育館 役員控室
3. 出席者：副会長 山本 章雄、菅野 健
理事長 高野 和弘、
副理事長 浅井 正仁、出居 綾子
常任理事 滝澤維世嗣、積山 和明、黒田 進、横沢 民男、渡辺 剛
理事 秋峯 良二、黒田 謙二、徳永 文利、原 巖、山下 仁、
米沢 利広
運営理事 加藤 敬夫、木下 健、永田 道子、日置 康夫
学生理事 天野 永揮、松浦 悠、寺島 紗希、保科 凌介、鈴木 智士、
西井 麻奈、望月 隆司、栗栖 将吾、前田 晃弘
陪席者 太田尻紗也香、松田 侑女、田村 友季、黒須 愛美、佐久間絢菜、
杉山 健太、中村 照悟
文責者 九富 鴻平
・議決権を持つ役員42名 出席者25名 委任12名（過半数を超えたため理事会成立）
4. 議長：高野 和弘
5. 議題：① 2018年度以降の全日本インカレについて
② 男女強化事業報告・来年度事業連絡
③ 黒鷲旗推薦枠
④ 全日本ビーチ報告
⑤ その他
6. 議事内容
① 2018年度以降の全日本インカレについて
・2018年度以降の試合日程等に関しては、来年度の理事会前に競技・登録委員会にて検討のうえ、3月の全日本理事会にて決定する。
・競技・登録委員会にての検討事項。
○準決勝の特設コート、縦4試合での実施について
○準々決勝の試合コートについて（大田区2面または、2会場開催）
○大田区総合体育館のサブコート使用について
○準々決勝以降の補助役員について（主管学連で確保）
・2021年度以降の全日本インカレの開催地、開催方法の検討を次回理事会より行う。
② 男女強化事業報告・来年度事業連絡
・2018年度男女強化事業計画の説明があった。
・アジア大会のテストマッチが実施され、男子は、2018/2/13（火）～2/17（土）まで大学生が派遣されることとなった。
・JVAハイパフォーマンス事業本部について説明があり、デベロップメント推進部に指導普及の役割が組み込まれることとなったとの報告があった。

- ③ 黒鷲旗推薦枠
- ・全日本インカレ上位3チームと開催地枠として関西学連から男子1チームが推薦される。
 - ・全日本インカレの結果による推薦は次の通り
男子 早稲田大学 筑波大学 中央大学
女子 青山学院大学 筑波大学 嘉悦大学
- ④ 全日本ビーチ報告
- ・ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ2017 第29回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会結果および決算について説明があった。
 - ・関西学連主管にて計画しているビーチバレーボールNEXT U-23選抜優勝大会(仮称)について説明があった。内容に関しては、ビーチバレーボール委員会にて検討する。
 - ・ビーチバレーボール委員会に白鳥 歩(旧姓 草野) 日本体育大学女子ビーチ監督および佐伯 美香 松山東雲大学ビーチ監督を委員として推薦し承認された。
- ⑤ その他
- ・競技登録委員会関係規定改定および追加項目について説明があった。
 - ・2018年度より、JVA主催大会に出場する場合、ユニフォームの胸部または背部にMRS登録されているチームネームを付けることが必要となる。
 - ・JVA主催大会に出場する場合、JVA公認メーカー以外のウェア等は練習においても使用着用できない。
 - ・ユニフォーム、トレーニングウェア等への広告掲載に関しては、JVAのユニフォーム規定に則り、学連に関しても可能とする。今後、広告申請が必要となる。
 - ・JVAおよび学連による派遣以外にて、海外遠征および海外チームの受入れを行う場合は、JVAならびに全日本学連に届出が必要となる。
 - ・報告事項について説明があった。
 - ・2018年度より、JVAのMRS登録方法が新しくなるため、登録料などの詳細については、JVAと打合せのうえ各学連に連絡する。
 - ・指導普及委員会にて、2018年度より小中学生に向けてのバレーボール教室開催を各大学に実施するよう依頼する。
 - ・FUTURE6の海外派遣に関しては、JVAと調整のうえ正式に決定したらご連絡することとした。
 - ・理事会の議事録に関して、各大学に把握していただけるよう、全日本学連のホームページに載せることとする。

以上
全日本大学バレーボール連盟